

新規事業採択時評価結果（平成20年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：下保 修

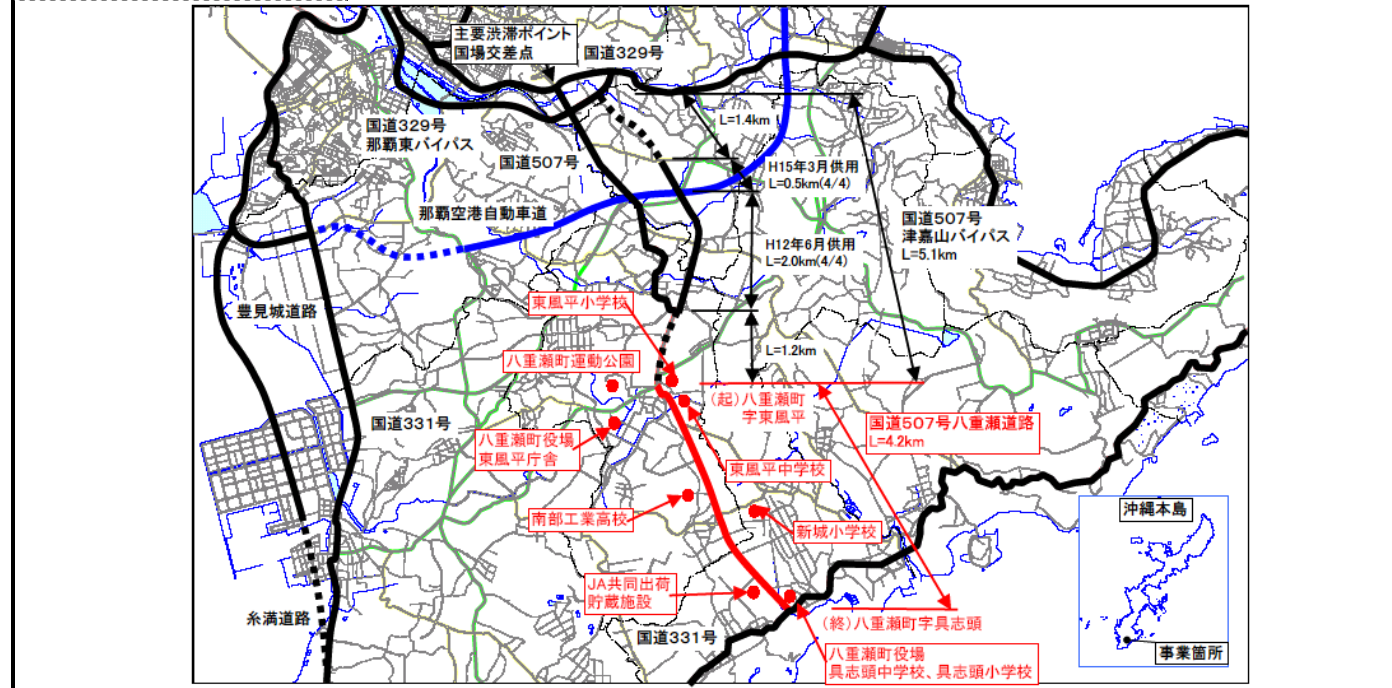
事業の概要

事業名	一般国道507号八重瀬道路	事業区分	一般国道	事業主体	沖縄県
起終点	自：沖縄県 八重瀬町 東風平 至：沖縄県 八重瀬町 具志頭	延長	4.2km		

**事業概要**  
 一般国道507号は、沖縄本島南部地域の中央部を南北に縦貫する骨格幹線道路である。  
 当該事業は、八重瀬町東風平交差点から一般国道331号までの延長4.2kmの区間について4車線拡幅を行うものであり、平成18年1月に誕生した八重瀬町（旧東風平町、旧具志頭村）の市街地と役場等の公共施設や農産物生産地、観光地を連結するなど合併市町村の一体化を促進する幹線国道として重要な役割を果たす。

**事業の目的、必要性**  
 東風平地域は、沿線に中学校及び幼稚園、保育園等の公共施設、商業施設や住宅などが集積しているが、幅員狭小のため通勤・通学の安全の確保が急務である。また、具志頭地域は県内1位の生産量を誇るオクラ、ピーマン、乳用牛など農畜産業が盛んで、ゴルフ場、南部戦跡など観光施設が数多く点在しており、生産地と消費地の地域連携や観光地等へのアクセスの向上が課題となっている。  
 当該区間の整備は、地域の安心・安全の向上を図るとともに、南部地域における南北の脆弱な幹線道路ネットワークを強化し、地場産業の活性化、観光産業等の発展に寄与するものである。

全体事業費	111 億円	計画交通量	29,900 台/日
-------	--------	-------	------------



**関係する地方公共団体等の意見**  
 八重瀬町長より平成19年5月と平成19年6月に整備に関する要請を受けている。

**事業採択の前提条件**  
 ・ 便益が費用を上回っている。  
 ・ 平成5年2月16日に当該事業箇所の一部について都市計画決定済み。

事業評価結果

費用対便益	B/C	9.7	総費用	89 億円	総便益	870 億円	基準年	平成 19 年
			事業費	86 億円	走行時間短縮便益	831億円		
			維持管理費	2.9 億円	走行経費減少便益	28億円		
感度分析の結果	交通量変動	B/C=	(交通量 %)	B/C=	(交通量 %)			
	事業費変動	B/C=	(事業費 %)	B/C=	(事業費 %)			
	事業期間変動	B/C=	(事業期間 %)	B/C=	(事業期間 %)			

事業の影響	評価項目	評価	根拠	
			自動車や歩行者への影響	社会全体への影響
自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	一般国道507号 【渋滞損失時間の改善】 【H42年 整備有無】 約10万人時/年 ⇒ 約3万人時/年 【1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間】 現況 : 約1.5万人時/年km 沖縄県平均: 約4.1万人時/年km (約0.4倍) 全国平均 : 約2.0万人時/年km (約0.8倍) 【渋滞度曲線】 【その他の特徴】	※データは県内平均・全国平均と比較すること
	事故対策	◎	一般国道507号 【死傷事故率】 約359.0件/億台km (現況) (死傷事故率比 (県内平均比) 4.66 (現況)) 沖縄県平均: 約 77.1件/億台km (約4.66倍) 全国平均 : 約121.5件/億台km (約2.95倍) 【その他の特徴】	※データは県内平均・全国平均と比較すること
	歩行空間	◎	・ 沿線に保育園や幼稚園、小学校、中学校、高校、住宅地等が立地、多くの児童、学生等の利用があり、歩行者、自転車の安全を図ることができる。	
社会全体への影響	住民生活	◎	・ 那覇市までの走行時間の短縮により通勤通学の利便性が向上する。 ・ 医療施設までの走行時間の短縮による安心ある暮らしを確保する。 (八重瀬町役場本庁舎～南部医療センター (第三次医療機関) の所要時間42分→17分)	
	地域経済	◎	・ 南部戦跡、ゴルフ場、その他観光施設へのアクセスが改善され観光振興に寄与する。 ・ 県内有数の生産高の農・畜産物を消費地へ運ぶ流通経路として産業振興に寄与する。	
	災害	◎	・ 緊急輸送道路としての機能強化が図られる (第2次緊急輸送道路)。	
	環境	○	・ CO2、NOX、SPM排出量が約0.3%削減する。	
	地域社会	◎	・ 平成18年1月に合併した新町及び沖縄本島南部地域の人的・物的な交流機能の強化、経済活動の活性化等地域間の交流促進が図られる。	
事業実施環境		○	・ 平成5年2月19日に都市計画決定 (事業区間の一部)。 ・ 国道507号津嘉山バイパス、富盛田園土地区画整理事業と一体的な整備が必要。	

採択の理由

・ 国道507号は、那覇空港自動車道 (南風原南IC) と連結し、地域高規格道路の沖縄西海岸道路、南部東道路等とともに県都那覇市を中心とする「放射幹線軸」としてネットワークを構築し、沖縄本島南部地域の産業振興、地域間交流促進、合併市町村の一体化、自立支援に寄与する。  
 ・ 採択基準に合致しており、都市計画決定済み (一部区間) である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。